様式第2	2号(第3条関	(係)		昌	₿務事	業割	価シー	٠,			整理番号	71007
=	事 業 名	婦人消防	隊活動 3	を援事業 しんきん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か						作成日	28 年 5	5 月 16 日
5	実施方法		直営 補助 委託 その他					課名	消防本部	総務課		
総	基本指針	(3)自然くり~自然			こやさ	しい	まちづ	その他		班名 事業分	総務係	\ 65 BB 左
合計		· / L/M	- 工冶垛块。							4	分類 12 4 会計 一般会	★
画上	施策	<3>安	全・安心の確保				当する		予	款消防費	н і	
一の位		①巛宝	①災害に強い地域づくりの排				1	位置			項消防費	
置	主要施策	①火吉						付 け		Н	常備消防	費・非常備消防費
付 け	牽引プロ ジェクト	□いきいき										の原産国構想
個別	^ 計画名	□□白代浪漫	(の玉熚:)	歴史と文化	の与っ	\ \ \ \ 1	再迟		虫が礼辞	: 险々り	快適いきいきア	イフント博忠
行財:		推進施策重点事項										
市民	の参画・協働											
	対象(誰を、						状態にし					
	婦人消防隊 	Į							想の向上: りを行う。		初期消火活動]を実施し、
事業の												
対象	事業内容(事業内容(どのような方法で、何を行うのか)										
		常備消防隊の活動展開までに時間を要する地域及び漁業地区で出漁中により消防力が低下している地域等										
的	・消防活動~	防隊を組織し、次に掲げる支援を行なう。 動への指導及び活動助成金の支給										
内		社共済への加入 に必要な資器材の購入										
容												
事業	期間	ম	^z 成	年度	<u>~ </u> <u>5</u>	P.成	年月	医(年間])	□期間設	定なし
根拠	法令・要綱等	F										
事	事業費 / 年度		平成 26 年度 (決算) 平成 27 年度 (決算			隻 (決算)		平成 28 年度(予算)				
直接	直接事業費(千円)		1, 39			1, 3			1, 388			
財	国・県支出会	金										
源	地方债									4 000		
内訳	C 07 12 19 22 79 1/1/N		1, 000			1, 0					1, 000	
人化			393 174							85 74	388	
内内	職員(人・・	千円) 0.	03 人		174	0.	03 人				. 03 人	174
訳	嘱託(人・・		人		0		人			0	人	0
	,	活動・成果			肖	 〔位	26 年月	吏	27	年度	28 年度	29 年度
活	- 1		・達成度を示す。)				(実績		目標	実績	(目標)	(目標)
動		防隊員数 法緊頓制度	>> #u == += 2 ==			<u>人</u>		11	120	106		120
成		궑制	\$制度加入率 ————————————————————————————————————		%	100		100	100	100	100	
果指	③ 設 ①婦人消防隊員8隊の構成員				 人消	访 隊	<u> </u> 員福祉∶	共済	制度への	 の隊員:	 加入率	
標	定			,. <i>O</i>								
	理由											

					[1	次 評	価】					
	市民	けのニーズ	を反映し	ているか		☑ 反映	している	一部反映していない	□ 反映していない			
	行政	政が実施することが適当か				☑ 適当	である	□ 一部適当でない	□ 適当でない			
	国や	≎県、民間等のサービスと重複していないか				☑ 重複	していない	□ 一部重複している	□ 重複している			
妥当	社会	情勢の変	化で実施	意義が低下し	ていないか	☑ 低下	していない	◯ 一部低下している	□ 低下している			
		常備消防の展開に時間を要する地域及び漁業地区で出漁中により消防力が低下している地域等で、初期消火活動										
性		を担う婦人消防隊の役割は重要であり、これを市が支援することは当然の責務である。										
	説											
	明											
				な事業か		│	である	一部必要でない	└ 必要でない			
		的を達成するための事業内容となっているか					ている	一一部なっていない	なっていない 			
	施策	策の中で類似・重複した事務事業がないか					はない	□ 一部重複している	□ 重複している			
有効		業継続により成果の向上が図られるか					れる	一部図られない	□図られない			
								、婦人消防隊の育成引	蛍化をはかることは、 │ らかじめ共済制度に加			
性				心して活動に			- あいる隊員の	争収守に刈して、めり	つかしの共済制度に加し			
	説											
	明											
						I						
			切の計画どおり実施されたか 			☑ 実施		□ 一部未実施	□ 実施されなかった			
\ +	成果	指標は達			1 -1, 7 /		の指標達成	──一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	達成しなかった			
達成									少子高齢化により人 ながらも、 退隊年齢の			
度	説											
	明											
	コス	ストや業務量に見合った成果が得られたか				✓ 得ら	れた	─ 一部得られていない	□ 得られていない			
	手段	段等の見直しによりコスト削減の余地はないか				☑ 余地	はない	□ 一部余地がある	□ 余地がある			
効		婦人消防隊の活動を支援するための必要最小限度の助成であり、これ以上の削減は婦人消防隊の活動の低下のならず存亡にも影響する。また、資器材の購入については、財団法人 自治総合センターの助成事業を活用										
率	説					人についく	. は、財団法人	. 自治総合センダーの	り即成争耒を活用する			
性	明	ことで、一般財源の支出の軽減に努めた。										
	<u> </u>		/ h4L		\±	+	ᄮᄷᄱ					
		妥当性		有効性	達.	成度	効率性	4 =適切・十分 3 =概ね適切				
個別	評価	4		4		4	4		2 = やや不適切・やや不十分			
				T	'	7	7	1 =不適切・不十分				
				•	A=拡大・現	非維持		•				
	₩ ▲=	≣क / = c		^	B=事業の進		善検討					
│												
					D=抜本的見	見直し、1不り	発止の検討					
				拡大		 犬維持	縮小		ì			
		方針		その他の見			_	ー 年度で事業終了				
今後	é ص											
方			/ 12 U M U M M M M M M M M M M M M M M M M									
		今後の 改革・ 改善										
		改革 · 改善										
[2		改革・ 改善 目標	対象	₹ □対象								
[2	針	改革· 改善 目標 価】	□対象			□ 綋ル	√ □ ∽	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	一 休・ 廃止			
	針 次評	改革・ 改善 目標	□対象	ऐ	泉外 現状維持	□縮小	√ □統合	□見直し	□ 休・廃止			
今後	針 次評	改革· 改善 目標 価】	□対象			□縮小	\ □統合	□ 見直し	□ 休・廃止			
	針 次評	改革· 改善 目標 価】	対象			□縮小	\ □統合	□ 見直し	□ 休・廃止			